



平和首長会議ニュース

2024年1月 / 第169号

平和首長会議加盟都市数

166 か国・地域 **8,349** 自治体

加盟都市数 10,000 都市を目指しています！

日本国内加盟自治体数 : 1,739

(2024年1月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

🌐 ウェブサイト:

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/>

📘 フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

✂ X(旧ツイッター):

<https://x.com/Mayors4Peace>

「いいね！」をお待ちしています。

<<今号の内容>>

- ◆ 被爆樹木の種取りを実施しました
- ◆ 加盟都市の活動紹介
- ◆ 平和教育ウェビナーを開催します！
- ◆ 平和首長会議加盟自治体数: 166か国・地域 8,349自治体
- ◆ 平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆ 平和教育の取組事例を募集しています
- ◆ 長崎大学核兵器廃絶研究センターから: 2023年版「世界の核物質データ」ポスター解説②
- ◆ ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆ 広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」について

=====
■被爆樹木の種取りを実施しました
=====

平和首長会議では、行動計画に沿った取組として、国内の加盟都市に被爆樹木の二世の苗木を、海外の加盟都市に被爆樹木の種を配付し、市民に育成してもらうことにより、平和意識の醸成を図る取組を実施しています。

取組の一環として、2023年12月17日、広島市で初雪が降る中、平和首長会議事務局は、グリーン・レガシー・ヒロシマ・イニシアティブなど「ヒロシマ被爆樹木ワーキンググループ」を構成する他団体と共に、被爆樹木の種取りを行いました。



被爆クロガネモチの実の採取




被爆クロガネモチの種の採取

まず、広島城跡の被爆クロガネモチから実を採取し、実から種を取り出す作業を行いました。このクロガネモチは、1894年の日清戦争開戦後、広島城内に置かれていた大本営前の庭園に植えられていたもので、爆心地から910メートルの距離で被爆しました。この他に、被爆クスノキの実も採取しました。

採取された種は、樹木医による処置を受けた上で、広島市植物公園にて保管されています。平和首長会議では、この種の提供を受け、海外加盟都市からの申請に応じて配付しています。

国内の加盟都市の皆様には、広島の被爆アオギリ二世の苗木と、長崎の被爆クスノキ二世の苗木を配付しています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の苗木の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

平和首長会議ウェブサイトにて、被爆樹木二世の苗木を活用した加盟都市の取組についてご紹介していますので、是非ご参照ください。

 被爆樹木二世の苗木の配付・育成(平和首長会議ウェブサイト):
<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/tree/>

=====
■加盟都市の活動紹介
=====

● 兵庫県芦屋市

芦屋市では、毎年5月、8月及び10月に、悲惨な戦争や平和の大切さを未来世代に伝えていくために「たゆまぬ平和への歩み」展を開催しています。

2023年10月は、平和首長会議が主催する「子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト」の入賞作品及びメッセージなどの展示を行いました。

多くの方に、子どもたちの願いこそ、未来への願いであることを改めて思い起こしていただきました。



写真提供: 芦屋市

=====
■平和教育ウェビナーを開催します！
 =====

視聴者募集！

平和首長会議では、国内外の加盟都市等における青少年の平和活動の活性化を図るため、青少年が実施する平和活動の活動報告及び意見交換の場として、平和教育ウェビナーを開催します。



過去に開催したウェビナーの様子

本ウェビナーは、どなたでもご視聴いただけます。様々な平和活動を行う国内外の青少年の平和への思いに触れる貴重な機会となりますので、是非ともご視聴ください。

※ 使用言語は英語です(日本語への通訳はありません。)

視聴申込

平和首長会議ウェブサイトから申込できます。

【URL】 <https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/2024/post-240125-2/>

【申込期限】 2024年2月26日(月)12時(日本時間)まで

- 開催日時:2024年2月28日(水)18:00~19:30(日本時間)
- 開催方法:Zoom ※YouTubeでライブ配信
- 次第(予定)
 - ・ 開会挨拶
 - ・ 趣旨説明
 - ・ 核兵器を巡る国際情勢についての講義
 - ・ 青少年による発表
 - ・ ディスカッション
 - ・ 講評・閉会
- ファシリテーター:中村桂子氏(長崎大学核兵器廃絶研究センター准教授)
- 発表者(予定):

所属等	発表者	居住地
広島市立舟入高等学校	出野日葵さん、織田未来さん	日本
ウェリントン市	フィービー・ロケットさん	ニュージーランド
コミュニケーション／持続可能な安全保障コンサルタント	ヴァンダ・プロスコヴァさん	ベルギー
マラヤ大学	ホ・ヤン・チーさん	マレーシア

※ その他の発表者は調整中です。決まり次第、平和首長会議ウェブサイト等でお知らせします。

■平和首長会議加盟自治体数:166か国・地域 8,349自治体

2024年1月1日付で、7自治体が加盟し、加盟自治体数は8,349都市となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

新たに加盟した国・地域と内訳は以下のとおりです。

国・地域名	新規加盟都市名	加盟都市数	備考
フランス	スレヴル・アン・ポカージュ	173	オーストリアの加盟都市であるサンクト・ウルリヒ・バイ・シュタイヤー市の呼び掛けにより加盟。
ドイツ	ヴェッセリング	874	副会長都市及びリーダー都市であるハノーバー市の呼び掛けにより加盟。
ヨルダン	グレーター・サルト等2都市	27	昨年8月に平和記念式典に参列した駐日ヨルダン大使の要請がきっかけとなり加盟。
ネパール	ボテコシ等2都市	39	昨年4月に松井会長を訪問された駐日ネパール大使の要請を受けて、同国連邦総務省が全自治体に加盟を呼び掛ける文書を発出したことがきっかけとなり加盟。
ポルトガル	カミニャ	52	理事都市及びリーダー都市であるエヴォラ市の呼び掛けにより加盟。

5か国から7都市が加盟

	フランス	1都市
	ドイツ	1都市
	ヨルダン	2都市
	ネパール	2都市
	ポルトガル	1都市

 **加盟都市数**



166

か国
地域

8,349

都市

2024年1月1日現在

加盟都市数 **10,000都市** を目指しています！



平和首長会議では、核兵器のない平和な世界の実現に向けた大きな潮流をつくるため、**10,000都市加盟**を目指し、加盟拡大に取り組んでいます。海外の姉妹・友好自治体で、平和首長会議に未加盟の自治体がある場合は、是非加盟の呼び掛けにご協力をお願いします！

 1月1日付新規加盟自治体一覧(PDF):
https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2023/file-2312-newmembers2401_jp.pdf

 加盟都市数一覧(国・地域別) (PDF):
https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/monthly/file-07_membership_by_country_jp.pdf

=====
■平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください
=====

2021年7月にオンラインで開催した第12回平和首長会議理事会において、「[平和首長会議行動計画\(2021年－2025年\)](#)」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた取組の推進にご協力ください。

🔗 「平和首長会議行動計画(2021年－2025年)」(PDF):
https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2021/file-PX_Vision_Action_Plan.jp.pdf

🔗 行動計画に基づく取組(平和首長会議ウェブサイト):
<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/>



=====
■平和教育の取組事例を募集しています
=====

平和首長会議事務局では、加盟都市での取組の活性化につなげていくために、各加盟都市において実施されている平和教育の取組事例を収集し、「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介しています。

これまでにお寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

🔗 平和教育の好事例の紹介コーナー(平和首長会議ウェブサイト):
<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/edu-example/>

また、事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。頂いた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。

▼書類提出・問い合わせ先:

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

＜＜貴自治体の平和活動の情報をお知らせください＞＞

平和首長会議事務局では、[行動計画](#)に盛り込まれている平和教育や平和文化等に関する行事等の情報を募集しています。平和首長会議ウェブサイトの「[加盟都市の活動](#)」コーナーでご紹介します。特に、次代の平和活動を担う青少年の育成に関する事業や、「平和文化の振興」に寄与する活動について、ご報告いただけますと幸いです。

是非、短文のご報告(最大400字程度)を写真とともに、平和首長会議事務局までお寄せください。

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

■長崎大学核兵器廃絶研究センターから:2023年版「世界の核物質データ」ポスター解説②

核兵器に必要な不可欠な原材料は高濃縮ウランまたはプルトニウムです。近代核兵器には、高濃縮ウランとプルトニウムの両方が使われています。

前回紹介したように、世界には、広島・長崎原爆に換算して優に11万発分以上にもなる、1,260トンの高濃縮ウランと552トンの分離プルトニウムが存在します(データは2021年末現在)。今回は、この2つの物質について詳しく説明します。

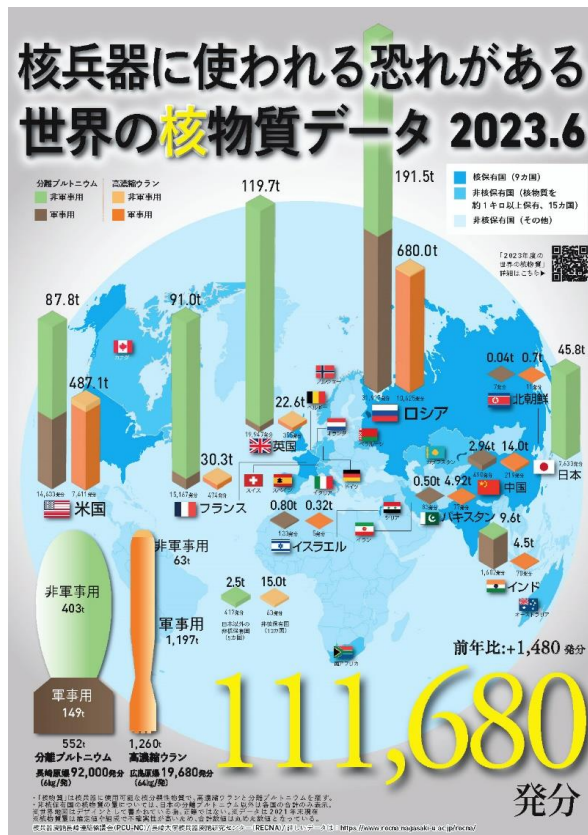
ウランは自然界に存在する物質で、いくつかの種類があります。天然のウランは、核分裂が起きにくいウラン238が99.3%を占めていて、核分裂が起きやすいウラン235はわずかに0.7%です。そのままでは核分裂が起きにくいので、ウラン235の濃度を高める必要があります。この作業を「ウラン濃縮」と言います。通常の核兵器で使われているのは90%以上に濃縮されたものですが、20%以上であれば核兵器に利用できると考えられています。これを「高濃縮ウラン」と呼びます。一方、普通の原子力発電所で用いられているウラン燃料は、3~5%程度に濃縮したもので、そのウランは「低濃縮ウラン」と呼ばれます。

民生用の低濃縮ウラン施設であっても、高濃縮ウランの生産は技術的には容易です。ただし、国際原子力機関(IAEA)の監視のもとにあれば(NPT締約国である非核兵器国はすべてIAEAの査察を受ける義務があります)、非核保有国で高濃縮ウランを秘密裡につくることは容易ではありません。

他方、プルトニウムは天然には存在しない物質であり、原子炉を運転すると自動的に生成されます。例えば、世界で最も多く使用されている軽水炉の使用済み核燃料には、重量で約1%のプルトニウムが含まれています。この使用済み核燃料からウランと核分裂生成物を取り除き、プルトニウムを回収する方法を「再処理」と言います。

通常の前元から回収されるプルトニウムは「原子炉級プルトニウム」と呼ばれます。純度の高い「兵器級プルトニウム」に比べ、核兵器製造には適さないという意見がありますが、これは正確ではありません。そのようなプルトニウムで製造した核兵器であっても、通常兵器をはるかにしのぐ爆発力があることには変わりはありません。そして、より高度の設計技術を用いれば、高い信頼性と十分な爆発力のある核兵器を製造することが可能なのです。

2023年版「世界の核物質データ」ポスター



画像提供: 長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)

=====
■ヒロシマ発平和関連ニュース(連載第111回)

[中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

=====
2024年は、能登半島の大地震と津波という、それまでの日常が一変する災害で始まりました。日に日に増える犠牲者数と、被災地での過酷な避難生活を思うたび胸がつぶれそうになります。世界に目を向けると、人間の命と日常生活を奪い去っているのは自然災害だけではありません。各地で戦争や紛争はやまぬまま、新年を迎えました。

今年の年末には、「平和の実現へ、ほんのわずかでも近づいた」と振り返ることができるようになってほしい。核兵器や戦争に命が脅かされない世界を引き続き、粘り強く追い求めていかなければなりません。そのために参考となる記事を今年も紹介していきます。

関連記事は次のアドレスで読むことができます。

[無言の証人] 戦時石鱈

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=137659>

[無言の証人] 骨片が張り付いた小鉢

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=138440>

被爆樹木の枝で平和紡ぐ商品を 広島市 原爆投下80年に向け企画 25年度に団体・企業公募

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=138341>

原爆資料館 入館ネットで 混雑対策 チケット販売2月にも 15言語対応 朝夕に予約枠も

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=138160>

「原爆裁判」判決60年 問われ続ける核兵器の違法性

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=138227>


ユース非核リーダー始動 若者の被爆地訪問促す 国連が研修開始

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=138368>

=====
■広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」について

核兵器禁止条約は2021年1月22日に発効し、現在70か国が批准しています。日本政府の署名・批准は、平和首長会議が目指す「核保有国を始め全ての国がこの条約に参加」するための道づくりとなるものです。

広島被爆者7団体が推進する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」にご協力ください。

 「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」署名用紙

<https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2021/file-syomei.pdf>

このメールマガジンに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財)広島平和文化センター 平和首長会議運営課

TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp

平和首長会議メールマガジンの最新号やバックナンバーは、次のアドレスからご覧いただけます。

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/newsflash>

【平和首長会議公式SNSアカウント】

〈X(旧ツイッター)〉  @Mayors4Peace

<https://x.com/Mayors4Peace>



〈フェイスブック〉  @mayorsforpeace

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>



フォロー、拡散、「いいね」、コメントをお願いします！